

がいこくじん みな
外国人の皆さんに
インタビューしました



HELLO!



ヤマグチマイケルさん
出身：アメリカ
職業：農業、
COOPBESTA ひがし店
日配★コーナー勤務

普段生活している場所で、外国人の方を見かけることはありますか？

話したことはないけれど、どんな人なんだろう？喜多方や会津のことをどう思っているのだろう？そこで！当協会では日本で活躍している外国人の皆さんにインタビューをしてみました。

どんな方なのか知ってみると親近感がわいてくるかも？是非、多文化理解の一步として、外国の皆さんのことを知ってください😊

第1回は、当協会でもお世話になっているヤマグチマイケルさんにインタビューをさせていただきました。外国語（英語）活動等で活躍をしていますが、実はマイケルさんは、COOPBESTA ひがし店の日配★コーナーにてパートタイムで働く農家さんです。

★日配とは毎日店舗に配送される食品で、主に賞味期限や消費期限が短く、冷蔵が必要な加工食品のことです

出身はどこですか？

私はアメリカ人ですが、沖縄がまだアメリカの統治下にあった時代に生まれました。1972年に沖縄が日本へ返還された際、家族はアメリカに帰国しました。

喜多方に初めて来たのはいつですか？また、なぜですか？

2003年に農業を始めるために喜多方に移住し、今年で22年になります。会津に来る前は、東京で日本の企業に5年間勤務していました。

日本での生活や仕事に慣れるのは大変でしたか？

特に漢字の習得が一番大変でした。今でも漢字は苦手ですが、今の時代はスマートフォンがあれば日本語の読み書きにはほとんど苦労することはありません。仕事においても私の語学力で同僚に迷惑をかけているとはそれほど感じていません。

どのような活動に携わっていますか？

私は地域社会で積極的に活動しており、いくつかの団体に所属しています。特に会津喜多方国際交流協会では、図書館で子どもたちに英語の絵本の読み聞かせをしたり、保育園や幼稚園で英語を教えたり、時には翻訳・通訳もしています。

喜多方に住んで一番良かったことは何ですか？

喜多方の人々は皆とても温かく迎え入れてくれ、皆が私を仲間として認めてくれることに感謝しています。以前に住んでいた集落では青年団に所属し、お祭りで笛を吹いていました。

今後、どのようなことを望みますか？

日本に移住して一番大変だったのは、日本語の習得でした。新しく来た方たちがより早く社会に溶け込めるよう、日本語を学ぶための機会をもっと増やしてほしいです。また、地域社会の多様な文化が反映された食品が食料品店にもっと並ぶといいと思います。西洋料理やアジア料理などのエスニック料理が増えるといいですね。全体的に見て、異文化交流のためのイベントや展示会も増やしてほしいです。

Thank you ♡

また、マイケルさんと同じ
COOPBESTA ひがし店のパンコーナー
「ラパンベーカリー」で働いている
中国出身の佐藤暁絵さんにも
お話を伺いました。

佐藤暁絵さん
(さとうあきえ)
出身：中国
職業：COOPBESTA ひがし店
「ラパンベーカリー」



佐藤暁絵さんは中国出身です。1998年6月に国際結婚により来日し、それ以来ずっと喜多方に住んでいらっしゃいます。人生の半分以上を喜多方で過ごしてきました。今は日本の国籍も持っています。

何か地域の活動に参加していたことはありますか？

喜多方に住み始めて5年ほど経ったとき、国際交流協会の日本語教室に通い始めました。先生と一緒に旅行に行ったり、電車に乗ったりして、とても楽しかったです。

喜多方で暮らして一番良かったことは何ですか？

食べ物が美味しくて大好きなスイカとトマトをたくさん食べられます。空気もきれいで水もたくさんあることです。

喜多方の皆さんは、やさしくて思いやりがあり、そこもよかったと思っています。

COOPBESTA ひがし店で働いていて良かったことはなんですか？

パン屋さんに入ってから、お客さんとコミュニケーションがとれて、触れ合えることが多くなって良かったです。

皆さんに支えていただいたおかげで長年働くことができました。本当にありがとうございます。

20年近く前、日本語教室に通われていた当時から変わらず可愛いあきえさん♡パンコーナーでやさしくお客さんとお話しされている姿が印象的でした。インタビューへのご協力ありがとうございました！



★2人の勤務先である COOPBESTA ひがし店の店長《遠藤学》さんにもお話を伺いました。

外国人の方の働いていて良いところはありますか？

仕事に対して真面目で熱いです。それぞれ国別でよいところがあります。特にマイケルさんは細かいところにも気づいて困っていること(除草や除雪)もやりましょうか？と声をかけてくれて助かっています。

印象に残っているエピソードを教えてください

きっちりと丁寧にやってくれるので陳列がすごくきれいです。他店舗や仕入れ担当の人が手伝いに来たときも、マイケルさんが陳列したあとは「きれいですね」とほめられます。草刈りや除雪もやってくれて助かっています。 《マイケルさん》

値引きなど、時間をみてきっちりとやってくれています。とても助かります。 《あきえさん》

・皆さん、それぞれの場所でスペシャリストとしてやってくれています。
・鮮魚コーナーにも外国人の方がいらっしゃるのですが、年々きれいにやろうという気持ちが表れていて、お刺身のクオリティも上がっています。

お店側で工夫していることは何かありますか？

それぞれの部門に外国人の方が入ったときに、チーフなどによく見てもらうようお願いしています。その場で見ていないと困ったときなどに対応できないことがありますので。

実際働いてもらってから、気づいたこと

勤務歴が長くなればなるほど、頼りになり、教わる側から教える側になっていきます。

外国人が応募しても採用できますか？

言葉が話せて理解ができればOKです。レジはよほど日本語が上手でないと、無理ですね。字が読めればよいですが、読めなくても話せれば問題はないです。あとは日本人も同じですが、働く部門、適性によって採用できるかどうかは変わってきますね。

外国人が地域で働くことについてどう思いますか？

喜ばしいことだと思います。

受け入れる側と働く側がお互いリスペクトがないと成り立たないですね。

関係性やコミュニケーションがうまくとれれば問題ないのではないのでしょうか？

ただし、お店としての決まりだけは守ってほしいと思います。

(日本人、外国人関係なく) これを守れない方が一部見受けられます。問題が起こるときはたいてい、これ(決まり)が守れていないです。

他の店や事業所に伝えたいことはありますか？

外国の方といっても狭いエリアでしか会っていません。国民性などが理解できていれば対応できるのではないのでしょうか。

働いているみなさんにメッセージ

毎日ありがとうございます。ひとつの部門だけでなく、色んな事にチャレンジできるようになってほしいです。

マイケルさん、あきえさん、遠藤店長、インタビューへのご協力ありがとうございました。これからも、COOPBESTA ひがし店で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

会津喜多方国際交流協会 外国人相談窓口担当：五十嵐